

祭 事 暦

5月1日・20日午前8時30分

月 次 祭

5月5日 国 府 祭

午前8時00分	社頭発興	
正 午	古式座問答	神揃山
午後3時40分	神対面の儀	大矢場
午後7時30分	社頭還幸	



発行所
寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷 智賢
 責任者
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

「パワースポット」ここ数年よく耳にする言葉である。パワースポットとは何であるのか。その場所にいると心身が浄化されエネルギーが、を与えてくれる場所と云われている。近年では全国の神社仏閣巡りがブームとなり、各所の由緒ある地を訪れる人々が増えている様だ。当神社にも昨年、寒川神社の御創建に深い関わりがあるとされ、最も神聖な場所とされる「難波の小池」が改修され、湧き出る御神水に満たされた。池泉回遊式庭園「神嶽山神苑」の杜が赫々と完成した。ある日、神苑に足を運ぶと、普段聞きなれている三段の滝の清流音と龍門瀑の水流音が合唱し、音感を奏でている様に聞こえた。ふと近くをみると老紳士がベンチに腰掛けており目を閉じて何かを得ている様にも感じられた。私が老紳士に挨拶を交わすと笑みを返されたが、その表情からは水流音と杜の静寂さで心癒された清々しい姿にも映った。神嶽山という空間の中で互いに神秘性を感じ合えた気がする。神嶽山の杜は新しく生まれ変わり、産声を上げたばかりだが、「難波の小池」のもつ神聖な空間と「神嶽山」には新たな神が宿り、赤々と漲（みなぎる）神威である。気が感じてならない。気が絶えず変化するもので、たとえ毎回同じように心静かに感じようと努力しても、安易に心に響くとは限らないのではないかと思われる。後にこれがパワースポットだろうか」と呼ばれる処は山深い場所とか或いは聖地を想像してしまいが、まさかこんな身近で感じ取る事が出来るとは夢にも思わず、深い喜びと感動を得る事が出来た。多くの人に伝えたい・多くの人に同じ、気を感じ取っていただければ」と思うこの頃である。なぜ人々はこの地を求めたのか又求めたのか。古代より人々はおなじ、篤い・尊い空間を感じ取り大切に鄭重にお護りし、人々はやすらぎ、ふれあいを求め様々な形で心身・精神の浄化に取組んできた。時には自身の感性で自分なりのエネルギー空間を見つけてみてはいかがであるだろうか。(里)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮

利根宮司就任披露開催



昨年十二月一日付けに利根康教氏は、寒川神社第二十七代宮司（明治四年國幣中社に列せられてより数えて）に就任致しました。

この慶事を祝しまして当社責任役員が発起人となり、四月十九日、ロワジュールホテル厚木にて披露の会が開催されました。

当日は、本社本庁総長矢田部正巳様をはじめ、



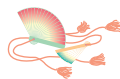
全国神社関係者や國學院大學の同級生、旧職員の皆様等三五〇名あまりの方々に、ご多忙中にもかかわらず、ご参加賜り、多数の皆様方よりご祝辞や励ましのお言葉と共に昔の思い出話しも頂き会場は大変和やかな雰囲気になりました。

清興には、鎌倉能舞台中森貫太様を始め永年にわたり相模新能をご奉仕いただいております皆様により

舞囃子「高砂」が演じられました。

祝宴に入り、会場の緊張もやわらぎ、京都祇園より駆けつけて下さいました芸妓・舞妓さんによる祝舞「鶴亀」や「祇園小唄」が披露されるなど、華やかさも感じられる中、終始穏やかな雰囲気にもまれ、ご歓談のひと時を過ごされておりました。

当日ご参加並びに祝意をいただきました皆様へ御礼申し上げますと共に、利根宮司の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



四月の祭事報告

年参講大祭齋行

— 奉納演芸大会賑わう —

去る四月三日(土)と四日(日)の両日、桜花爛漫の下で恒例の年参講大祭が盛大に斎行されました。

この日は、町内の氏子や各地区の講社団体の方々が、大勢お参りに来られ、日頃



昭和祭を斎行す

四月二十九日の「昭和の日」に昭和祭が斎行されました。

この祭典は、昭和天皇のお誕生日に御聖業を讃え、



の御神恩に感謝して神楽を奉納し、地域の安全と講員の無病息災を祈願致しました。

また、境内特設会場では宮山総代や氏子有志による奉納演芸大会が賑やかに開催され、訪れた参拝者を楽しませてくれました。

激動の時代を経てめざましい復興を遂げた昭和の御代を顕彰し、皇室の弥栄と国家の隆昌、国民の平安を祈るお祭です。

五月五日

国府祭御神幸時間のお知らせ

この祭典は「こつのみち」とも呼ばれ、大磯町国府本郷の神揃山に相模國一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮の神々が神輿にて参集し、古式「座問答」が行われます。その後大矢場にて神対面の儀・国司奉幣の儀が行われます。

神幸時間表

五月五日(水)

- 七〇〇 諸員参集
- 七二〇 遷霊祭
- 七五〇 発輿祭
- 八〇〇 社頭発輿
- 九〇〇 平塚通過
- 一〇三〇 神揃山祭
- 一一〇〇 古式「座問答」
- 一二〇〇 神揃山発輿祭
- 一三五〇 神揃山発輿
- 一四〇〇 大矢場着御
- 一五〇〇 神対面の儀
- 一五五〇 国司奉幣の儀
- 一六〇〇 大矢場発輿
- 一九三〇 社頭還幸

▼ 神対面の儀



▲ 発輿祭



▲ 座問答



連載

遷宮講座



國學院大學
神道文化学部教授
神道学博士

なかにし まさゆき
中西正幸

第十三回 御装束の品々

御装束とは、神体及び殿内をかざる品々のこと、神座鋪設具、殿舎鋪設具、服飾具、遷御具と大別することができる。

神座用につかう鋪設具で、玉奈井の帳、床の土代、御船代や御樋代の被などを称する。

殿内の鋪設具で、壁代や御幌を称する。

神々の容飾・服飾に関する品々で、服飾品の御衣や御裳から御襪・御沓、容飾を整える御鏡・髻結・御櫛などを指す。

奉遷路で使う威儀物のことで、道敷・行障・垣代などを称する。

御装束とは「神衣」という衣服六十五領、ならびに服飾品を指している。神の上衣である呉錦御衣は、黄地に竹の文様を織り込み、桐竹文を瑞祥とする古代中国の考えに關係がふかい。青纈纈綿御衣は青地の綿入れの御衣をさし、数ある御衣のなかでも、板挟みによる唯一の染紋



錦御衣 内宮御料

御料といえよう。御裳は上衣を腰で締める布帛のことで、正装のとき着用され、五十一腰が調達される。紫羅御裳は文様を織り成す薄物、倭文御裳は上代文様のはじめで、紺地に編織りで仕立てられている。

屋形紋錦御被は錦の夜具で、縦横に神殿の文様をあしらひ、神霊にもっとも近くに用いる御料として、古くから神聖視されてきた。また刺車錦御衣も錦の夜具で、黄地に黒色の文様をもつ。御屋形文・御所車文という「秘紋」の御被

は、取扱いに格別に敬意がこめられている。御帯はとも堅い伝統的な織物で、文化庁の全般的な指導を仰いでとり進められる。これら布帛は、すべて天然の植物染料で染められ、中古の色彩を偲ばせる品々といえよう。

黄楊の御櫛は覆蓋形式の櫛管に入れられ、正宮・別宮で九十一枚が献上される。御櫛といふ一見簡単と思われる御料も、正宮・別宮合せて九十一枚が必要である。その製作には原木の選定から乾燥・燻蒸・板締をへて、ようやく鋸による齒挽にはいるもので、実に繊細な神経を要するものといえよう。

白銅製の御鏡は篋押し流麗な文様がみごとで、清澄な靈気を漂わせる容飾具。轆轤管に入れられ、三十一面を数える。御白玉は髪飾りに用いる真珠のことで、総数八十一丸を数え楊管に入れられている。



御鏡 内宮御料

第六十回観桜駅伝競走大会開催

寒川の春の風物詩「観桜駅伝競走大会」が四月四日開催されました。

本年度で六十回を迎えたこの大会は、昭和二十六年に寒川神社の桜とバスの開通を記念し始められたもので、町内外から六十二チームが参加、当社前をスタート

した選手達は満開となった参道の桜並木を駆け抜け、自慢の健脚を競いました。

日頃の練習の成果を余す事無く発揮した、THE松林チームと円蔵中学校チームが見事一之宮賞（第二部 第三部優勝）に輝き、その栄誉が称えられました。



寒川俳壇年間最優秀秀句決定

—— 一之宮賞授与する ——

当神社の社報『相模』に毎月四季折々の俳句を献じていただいております寒川俳壇では、四月十一日に年次総会を行いました。

菅沼保幸氏へ、当社より一之宮賞が授与されました。一之宮賞（年間最優秀句）
植田列整然として
曲がりをり
菅沼 保幸

茅ヶ崎・寒川春の短歌大会開催

茅ヶ崎・寒川短歌会による、春の短歌大会が、三月二十八日行われました。数多くの作品の中より、

一之宮在住の竹原博子氏の歌が一之宮賞に選出され、賞状及び賞品が授与されました。

△一之宮受賞作品▽

交差点 青信号が点滅す
この歩みでは
もう渡れない

竹原 博子

相模國式内社の会

式内社巡拝会実施

「相模國式内社の会」では、去る三月二十六日に式内社巡拝会を行いました。式内社とは、平安時代中期、醍醐天皇の命にて編纂された「延喜式」に記載された神社を云い、相模國では十三社の記載が確認されており、

この十三社は現在も鎮座されており、相互の理解、意識の向上を目的として相模國式内社の会が結成され、様々な活動を行っています。本年は、静岡県富士市に鎮座する富知六所浅間神社を正式参拝致しました。神職により、社名が富士



でなく富知である理由や、富士山の噴火と鎮座地の関係を詳しく説明を頂き、式内社も地域環境により様々な形態がある事が解り、有意義な研修となりました。

御本殿御造営竣工十周年記念事業

御本殿周辺整備事業奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十二年三月奉賛者】（順不同・敬称略）

- 二万円 太田 利夫
- 高橋 晃
- 茅ヶ崎市下寺尾
- 伊勢原市下落合

◆青少年活動だより



寒川神社少年館

— 新入館生を迎えて —

四月二日春の風が吹く中、それにも負けない程元気な



四月二日春の風が吹く中、それにも負けない程元気な三十六名が入館しました。本館での入館奉告祭、静寂と緊張の内、六年間無事に楽しく過せませうと神様に小さな頭を垂れ祈りました。少年館では入館式を実施、利根館長先生と原田先生にお祝いのお言葉を頂きました。在館生を代表して、鈴木凜太郎君より「少年館は、他では経験出来ない事が沢山あります。困った事があっても、助け合い皆で楽しい少年館にしましょう。」

と、力強い言葉が贈られました。少年館では今季の目標を大きな声を出して元気よく遊べる子・落ち着きを持って人の話が聞け理解出来る子・挨拶のきちんと言える子と掲げ、育てて参ります。神社で遊ぶ子供達に、「こんにちは」と声を掛けてみて下さい。大きな返事が帰ってきたらおそらくその子は少年館の子供達です。新年度が始まりました。これから考えていくべき課題はまだありますが、新入館生は元より、在館生の子供達も、どうぞ暖かく見守ってあげて下さい。

第四十回 学齡児 図画展 開催

四月一日より十日にかけて学齡児図画展が華やかに開催され、訪れた参拝者の目を楽しませてくれました。本年度四十回を数えるこの図画展は、今春小学校へ入学する園児達の健やかな成長を願うと共に、創造性・独創性を助長する事を目的

とし、学業奨励の一環として開催されているもので、今年も寒川さくら幼稚園・倉見幼稚園・一之宮相和幼稚園のご協力のもと、一四五名の作品が展示され、氏子崇敬者をはじめ小学校に入学した親子連れの方々に鑑賞していただきました。



GS 神奈川 第四十五団

— 入団式・フライアップ式 —

久し振りの青天が、あたかもスカウトを祝福しているように感じた四月十八日スカウトハウスにてフライアップ式並びに入団式を執り行いました。

ガールスカウトには、年代毎にテンダーフット・ブラウニー・ジュニア・シニア・レンジャーとそれぞれ部門があり、各部門より次の部門へ上進する式典をフライアップ式と呼んでいます。



入団・上進したスカウト

達は、今後の抱負を皆の前で発表し、「やくそくとおきて」の実践を誓いました。

ボーイスカウト寒川第2団 もちつき・バザー大会開催

<とき> 5月3日(月) 9時~14時
雨天順延

<ところ> 寒川神社 神鹿苑



あったか! つきたて!
あんこ・きなこ・からみ・大福・よもぎ餅販売致します。

~つき手飛び入り大歓迎~

スカウト 1日体験入隊コーナー開設

同日10時~12時

スカウト募集 中

寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com (ホームページが新しくなりました。)



・五月より、外来診察担当医の診察日、診察時間が一部改変されます。受診される方は御確認の上、受診頂きますようお願い致します。

診療表		月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診 栗田啓司	武村文夫	栗田啓司	安達久見子	鳴海裕之	武村文夫 1,3,5週 栗田啓司 2,4週
		2診 森屋秀樹	干場泰成	丸山真弓		円谷斉子	鳴海裕之
	午後	武村文夫	鳴海裕之	武村文夫	安達久見子	円谷斉子	
神経内科	午前						高木繁治 2,4週
	午後		栗田啓司				
呼吸器科	午前			西谷惠三			
リウマチ科	午後			内山光昭			
糖尿病外来	午前		丸山真弓		大貫恵子	丸山真弓	
	午後				大貫恵子	宮 武範	
循環器科	午前						神田茂孝 4週 原田 厚
外科	午前	1診 木勢佳史	鈴木俊之	徳田 裕 (乳腺)	岡村卓穂	田中 豊	木勢佳史
		2診		石田秀樹			
	午後	木勢佳史	鈴木俊之		岡村卓穂 (乳腺)	木勢佳史	
脳神経外科	午後					富永二郎	
皮膚科	午後	眞鍋泰明		赤坂江美子	矢作榮一郎		
泌尿器科	午前		花井一也				
整形外科	午前	1診 内田雅夫	植原文尋	福村英信	金 俊男	内田雅夫	眞鍋卓容 1,3,4,5週 内山善康 2週
		2診 眞鍋卓容	橋本吉登	眞鍋卓容 (10時-)	内田雅夫	小椋 研	橋本吉登 (10時-)
	午後	1診 眞鍋卓容	植原文尋	福村英信	金 俊男	小椋 研	
		2診 橋本吉登 (スポーツ)			橋本吉登 (スポーツ)		
眼 科	午前	木勢由利子	増山和子	木勢由利子	保科真理	木勢由利子	木勢由利子
	午後	保科真理	木勢由利子	木勢由利子	海老原紘子	木勢由利子	
耳鼻咽喉科	午前	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	厚見 拓	大上麻由里
	午後	大上麻由里	関根基樹	大上麻由里	大上麻由里	竹尾輝久	
内 視 鏡	午前	鳴海裕之	森屋秀樹	木勢佳史	原 正	木勢佳史	山本 剛 1,3,5週
	午後	森屋秀樹	森屋秀樹	石田秀樹		鳴海裕之	

受付時間 午前 8 : 30 ~ 11 : 30
午後 13 : 30 ~ 16 : 30

電話受付時間 月~金曜日 8 : 30 ~ 17 : 00
土・日曜日 8 : 30 ~ 12 : 00
TEL 0467 - 75 - 0633

医療講演会のご案内

と き 5月20日(木)
午後2時~3時
ところ 寒川神社 参集殿
内 容 「動けてますか...?」
~知って得するリハビリのポイント~
講 師 理学療法士
加藤 幸弘

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒川病院

神前結婚式ご案内

5月23日(日)
午前10時より午後5時迄 参加費無料

寒川神社参集殿
ご予約・お問い合わせは
0467-75-5555

◆新採用
△寒川病院▽
看護師 稲田 明奈
看護師 福永三智子
寒川病院勤務を命ずる
平成二十二年五月一日

△神惠苑▽
介護職員 角 詩織
神惠苑勤務を命ずる
平成二十二年五月一日
◆退職
△参集殿▽
参集殿職員 小原 明子
願いに依り職を免ずる
平成二十二年四月三十日

人 事

きく川俳壇

花筏まだ本流に乗りきれず
花冷や北へまっ直ぐ風見鶏
淋しさは表に出さぬ葱の花
砲弾の如き筍屈きけり
土木課に女の技師や山笑ふ
川風の裏声となり芦の角
石仏の傾くほどの春疾風
鸚鵡にも訛り移して山笑う
もう誰も居ない公園桜散る
幸せは小さくてよし芹を摘む
菜梅梅雨早目に仕舞うラーメン屋
花冷ややはり手が出る昼の酒
そここの水濁らせて蝌蚪かたとの昼
山笑ふ朝日まぶしき厨かな
神主にもらう祝辞や花の宴
縁者のみ住む産土の鯉幟
山笑ふ口の達者な三男坊
春嵐空の構図を組み替える
切りたての畝に落ちつく花の塵
葱坊主半ドンの子等ちりぢりに
葱坊主立てば歩めと手拍子を
ひそやかに庭の一隅諸葛菜



山本 朝子
芹沢 徳光
岩田美代子
飛石 槿花
根岸 君子
金指 月光
松本美智子
岡田風呂釜
菅沼うめの
金子 つぢ
高橋はるよし
皆川志んご
相原 白踏
竹村真砂美
菅沼 保幸
天沼 子平
倉谷 節子
伊藤 公一
千葉 静香
露木てる子
宮入 つる
三輪 恭子

五月 手水舎奉掲

昭和天皇御製

美しく森を守らばこの国の
まがもさけえむ代々をかさねて

相模詠草

池の面には薄ら氷光るにメダカたち春はどこかと元気に泳ぐ
海ぞいを走るバス停にドア開き磯の香りを連れて客来る
国会は資金疑惑にのみかまけ為すべき議論の放棄許せぬ
神門に高く掲げたねぶた人形ライトアップで寅なほ猛し
連休に擦かう電車手を振って見知らぬ子供に手振り返す
色白の頬に紅さしはじらえる乙女さながら椿一輪
小鳥らの羽根色の差の鮮やかな雄ひかえめな雌よ
軋轢に悲鳴をあげる友の心くもりの蔭りに沈みしものが
頂上を目指した時の感動よ 富士山今朝は雪景色なり
春早く来いと裸木ふるふると小枝ふるわす寒風の中
友行きし黄泉とう国のはるけきに会うことかなわす真に淋しえ
二、三歳の子供ら美しさ娘らもにぎやかに集う七回忌なる
人の世は嘘ばかりで夕空の富士はむらさききつぱりと立つ
寅歳の夫は九十六歳持ち前の気性に意固地も伴いて未ぬ
若芽吹く春の訪れ待ち遠し 吾にやりたきこと一つある
猫やなぎひと芽ひと芽に春ま近か今年も壺の主役となりて
紅梅の根元に咲ける福寿草の愛し黄花在に屈みて眺む
相模野の蒼空我のものとして櫛一樹の亭亭と立つ



山口 幸子
山根喜美代
安藤 慧
鈴木 助晴
川島恵美子
吉田マツ子
工藤 光子
稲畠 治江
三留とく子
天利 春枝
岡元 芳子
出町 安子
斎藤くにお
宇田川時子
浜田 寿子
土屋トミ子
亀山 文子
講師 杉本 照世

表紙写真説明

神が宿る神籬かみかきを祭場へ遷し
座問答が執り行われる。

編年録

五月五日は、子供の日。
大空を悠然と泳ぐ真鯉、緋

鯉、子鯉たち。子供の健やかな成長を願って立てる鯉幟。家族の祈り天までとどけ！。